

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

2023年は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類となり、社会生活が少しずつ従来の様子に戻り始めた年でした。子ども・宇宙・未来の会の主要事業である「宇宙の学校[®]」も、コロナ禍前は、全国50か所以上で開催されていましたが、新型コロナウィルスが広がり始めた2020年度は、オンラインによる4か所のみで開催となり大きな影響を受けました。その後、主催者の皆様のご尽力によりオンライン開催なども含めて30か所程度まで回復し、2023年度は、33か所での開催となりました。しかし、コロナを契機として17か所余りが中止状態になっている現状があります。

私たち事務局スタッフは、何とか開催地区を従来の数に近づけることを第一の目標に日々頑張った一年間でした。

具体的には、宇宙教育センターと連携協力し、『宇宙教育』や『宇宙の学校』についての講義と教材演習を行う実践的な内容の「宇宙教育指導者セミナー」を全国6か所で開催し、たくさんの方に参加していただきました。

2023年を振り返って

副会長 稲葉 茂

来年度も全国10か所程度で開催を考えています。それにより、「宇宙の学校[®]」開催地区の増加ならびに空白都道府県の減少に努力してまいります。お近くで開催の際は、ぜひ、ご参加下さい。

また、新たな取り組みとして、AWS In Communities 2023 助成プロジェクト「絆プロジェクト」を実施しました。この事業は、相模原市内の不登校児童や児童養護施設の子どもたちを対象に「宇宙の学校」で使用している教材で科学することの楽しさを実感してもらうものです。初めての試みで不安なことも多々ありましたが、参加した子どもたちの笑顔から多くのエネルギーをいただきました。

次年度も全国のより多くの子どもたちに宇宙教育の機会を届けられるように努力してまいります。会員の皆様からの温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。

*AWS In Communities はアマゾン ウェブサービスが行う社会貢献プログラムです

活動報告

自主事業

- 2/11 AWS 絆プロジェクト[®]in 中心子どもの家
- 3/26 JAXA 調布航空宇宙センター会員見学会

宇宙の学校事業

- 「宇宙の学校[®]」宇宙教育指導者セミナー
- 2/18 唐津 (佐賀県唐津市)
- 3/2 国分寺 (東京都国分寺市)
- 3月 今年度全国33校のスクーリングが終了しました。各地の開催模様はホームページでご確認下さい！

イベントおよびCSR 支援

- 1/27 国分寺市おとなの宇宙の学校①
- 2/17 国分寺市おとなの宇宙の学校②
- 2/18 ジャポニカ学習帳宇宙教室 (福岡県久留米市)
- 3/2 国分寺市おとなの宇宙の学校③
- 3/4 杉並区立小学校 宇宙の教室 3.4年生特別授業
- 3/24 ジャポニカ学習帳宇宙教室 (大阪府松原市)

活動予定

- 4月 「宇宙の学校」商標登録更新
- 4/6.7 相模原市民桜まつり出展
小惑星 2001CC21 命名キャンペーン
子ども選定委員募集開始
- 5月 宇宙教育指導者セミナー 沖縄
理事会



会員情報

正会員 167 (個人:151 学生:4 企業・団体:12)
賛助会員 48 (個人:38 企業・団体:10)
みなさまの会費や寄付金が運営費の一部となり、KU-MA 活動を展開させていただいております。
日頃のご支援に心より感謝を申し上げます。引き続き、活動および活動資金へのご協力をお願いいたします。
当会への寄付(賛助会費含む)は、寄付金控除の対象となります。詳しくはホームページでご確認ください。

会員随時募集中!!

◇正会員: KU-MA のミッションに賛同し、活動を推進する個人/法人・団体
年会費 個人: 10,000 円(学生 5,000 円)、法人・団体: 50,000 円
◇賛助会員: KU-MA のミッションに賛同し、寄付いただける個人と法人・団体
年会費 個人: 10,000 円、法人・団体: 10,000 円
※個人賛助会員への会員証の発行、メールマガジンの送付は5口以上からです。

「子どもの宇宙」を広げ 未来を豊かに

KU-MA は JAXA 宇宙教育センターと宇宙教育活動に関する協定書に基づき、連携・協力しながら宇宙教育活動を推進しています
「宇宙の学校[®]」は、KU-MA の登録商標です

事務局よりお知らせ

2024年4月6日(土)、7日(日)
第51回相模原市民桜まつりに出展!!

同じブースには JAXA や YAC 相模原分団も参加!
今や大変貴重な KU-MA とコラボしたはやぶさキティちゃんグッズやオリジナル教材、宇宙グッズ等の販売もします。
ぜひ、遊びに来て下さい!



書籍の紹介

知れば知るほどロマンを感じる!宇宙の教科書

著者/編集: 寺園淳也(監修)、平松正顕(監修)
出版社: ナツメ社
「果てなく広大で神秘的な宇宙の“いま”に迫る!」
日本の民間人が初めて国際宇宙ステーションに滞在したり、JAXA で宇宙飛行士候補を募集したり、宇宙が身近に感じられる時代になりました。
本書では、アルテミス計画の全貌や宇宙探査にまつわる最新事情から、惑星や銀河などの天文学まで、豊富な写真と図解で解説。文系でも楽しく読める一冊です!(出版社より)



編集後記

今年度は AWS の助成のおかげで、これまで KU-MA が取り組むたくも出来なかった活動が初めてできました。子どもたちがこれから成長していく時に、宇宙教育に触れたことが何か良いきっかけになって欲しいと思います。
さて、H3 試験1号機、カイロスロケット、どちらもライブ中継を見ていたら失敗でした。H3 試験2号機の中継は見ませんでした。イプシロン6号機は見えていたかな。
見る見ないで決まるわけではありませんが、しばらく中継は見ないでおこう。(田)
ここ最近、自分の詰めの甘さに反省の日々。来年度は思い込みを捨て最後までしっかり頑張ります!
先日、KU-MA 会員 JAXA 航空宇宙センター見学会を実施。みなさんと会ってお話出来て楽しかった。会員同士が会える機会も増やしていきたいです。開催模様は次号でご紹介します。(い)

会費や寄付のお振込先

【会費や寄付金のお振込先は下記の口座へ】
横浜銀行 浏野辺支店 普通預金 1768456
特定非営利活動法人子ども・宇宙・未来の会
会長 並木 道義 (ナミキミチヨシ)
クレジット決済もできるようになりました。
ホームページよりお申込みいただけます。

認定NPO法人 子ども・宇宙・未来の会「宇宙の学校」事務局
〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1 JAXA内
電話・FAX: 042-750-2690
E-mail: KU-MAs@ku-ma.or.jp
ホームページ: https://www.ku-ma.or.jp



小惑星 2001 CC21 命名キャンペーン

はやぶさ2探査ミッションで2026年7月にフライバイ探査を行う予定の小惑星 2001 CC21 の名称を募集しています。ぜひ、ふさわしい名前を応募してください!

応募期間: 2023年12月6日から2024年5月9日まで

https://www.hayabusa2.jaxa.jp/topics/20240202_CC21Camp/index.html

小惑星 2001CC21 命名キャンペーン 名称募集のお知らせ!

はやぶさ2 拡張ミッションで2026年7月にフライバイ探査を行う予定の小惑星 2001 CC21 の名称を募集しています。ぜひ、ふさわしい名前を応募してください!

応募期間: 2023年12月6日から2024年5月9日まで

https://www.hayabusa2.jaxa.jp/topics/20240202_CC21Camp/index.html

名称選定プロセスには、KU-MA (認定NPO法人子ども・宇宙・未来の会) と YAC (公益財団法人日本宇宙少年団) から選ばれた子どもたちにも子ども選定委員(仮称)としてオンライン会議や夏休みに宇宙科学研究所で行われる名称選定会議に参加協力していただく予定です。子ども委員の募集については、メールマガジンや当会ホームページ等で紹介いたします! 興味のあるお子さんやお知り合いに、ぜひご紹介ください!

*KU-MA は、はやぶさ2 拡張ミッションを応援しています

2023 おとなの宇宙の学校 開催しました！



2015年度から実施している「おとなの宇宙の学校」は、KU-MAの自主事業や「人と人がつながり、学びが循環するまち」を教育ビジョンに掲げている国分寺市教育委員会との連携で実施し、9年目を迎えました。

内容は専門家や研究者の講演に加え、宇宙教育と教材についてもご紹介しています。

コロナ禍は回数や人数を減らし実施していましたが、感染対策を講じながら開催規模を戻しつつ開催調整を行って、ここ数年では、応募開始後、数時間で定員が満員となる大変人気の講座となっています。

2024年1月27日『2024年 ざっくりわかる宇宙の話題』 講師：大川 拓也さん(会員)

最新の宇宙探査から国分寺の夜空で見られる天文現象まで、気になるトピックを取り上げ、2024年に特に注目したい話題を幅広くわかりやすくお話していただきました。

月に到着したSLIMミッションのお話からスタートし、これからの様々なミッションやその背景、ロケット、天文現象など…たくさんの話題に宇宙に詳しい方も初心者の方もみなさん引き込まれていました。天文現象は彗星に注目！海外では皆既日食や金環日食も！興味のある方はさらに調べてみてくださいね！



▲教材演習：熱気球を作ろう/葉脈標本でしおりをつくろう

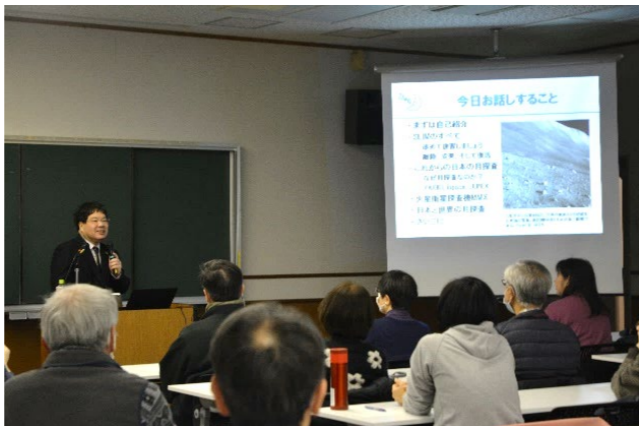


▲2024年2月17日 施設見学

2024年3月2日『2024年、日本の月・惑星探査 月へ、火星へ、その先へ～』 講師：寺園 淳也さん(会員)

月探査の話題を中心に今後の惑星探査まで、たくさんの映像も交えながら詳しくお話していただきました。

SLIMミッションの内容からスタートし、JAXAで行われた月着陸当日深夜の記者会見やその後の記者会見に取材側として参加した寺園さん。ご自身が感じた現場の状況や緊張感、その後いくつかのテレビ局から取材を受け出演した模様など…。ご本人ならではの裏話も交えお話くださいました。後半は、これからの月探査や惑星探査のお話さらにみなさん聴き入っていました。



連載4回シリーズ

今日の宇宙の天気は晴れ！

～宇宙の天気を予報する～ 会員 小原 隆博さん

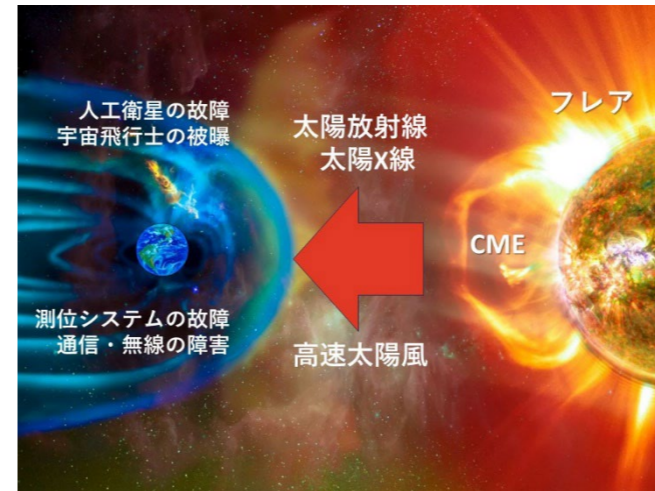


第2回：危険な宇宙の嵐

地球の天気になぞらえて、変動する宇宙環境を「宇宙天気」と呼んでいます。宇宙の天気の中で、とりわけ危険なのは、太陽活動が原因となって起こる「宇宙の嵐」です。今回は、宇宙嵐の発生と、その地球への影響について、詳しく見て行きましょう。

太陽観測衛星「ようこう」と「ひので」によって、太陽フレアの発生の仕組みが、だんだん分かってきています。黒点上空にある磁力線が大きくねじれてエネルギーをため込んでいき、その後、形の変化を伴って磁場に蓄えられたエネルギーが解放されて、太陽フレアが起こっていました。太陽フレアからは、強力なX線が放射され、それに伴い、太陽のコロナ大気ははぎとられました。CME（コロナ質量放出）と呼ばれる構造が、外に向かって飛び出していきます。また、詳しい研究により、CMEで大量の放射線粒子が作られることが分かりました。

これら太陽からのX線と放射線粒子は、地球に悪い影響を与えます。人工衛星に搭載されている観測装置にノイズを発生させたり、半導体を損傷させます。宇宙スレーション軌道にも太陽放射線粒子が襲い、宇宙飛行士に影響を与えます。またCMEが原因となって地球に磁気嵐が起こると、大気上空の電離層が変化します。電離層が嵐の状態になり、GPSなどに測位誤差が生じてしまいます。さらに、通信や無線が使用困難になる事態も発生します。



図題：太陽活動が地球にさまざまな影響を与えています

北極で起こった強いオーロラは、地上の送電線に誘導電流を流します。1989年に、カナダケベックで、10時間にわたる停電が起こり大きな損失になりました。また、最近では、磁気嵐の影響で、40機の低軌道衛星が大気圏に落下するなど、宇宙天気の悪い影響が、顕在化している状況です。

こうした危険から回避するためには、危険な状況をあらかじめ知っておくことが重要です。次回は、宇宙の危険を知らせる宇宙天気予報について解説します。

次号 第3回：宇宙の天気を予報する

宇宙環境対策、宇宙の危険を知らせる

【プロフィール】

小原隆博 おばらたかひろ 東北大学名誉教授、放送大学客員教授、KU-MA 会員

文部省宇宙科学研究所助手、情報通信研究機構グループリーダー、宇宙航空研究開発機構グループ長、東北大学理学研究科教授を歴任。

専門は宇宙天気予報、特に地球放射線帯（バンアレン帯）変動予測。

田中館賞受賞。理学博士（東北大学）

